

対象患者 びまん性大細胞型B細胞リンパ腫

レジメン名 Pola+R-CHP療法

1サイクル ： 21日

総サイクル数 ： 8サイクルまで

通しNo.	抗がん剤	薬品名・規格	投与量	手技	投与ルート	投与時間・速度		day1	day2	day3	day4	day5	・・・	day21		day1	・・・	day21
1		プレドニゾン	100mg/body	経口	内服			○	○	○	○	○						
2		アセトアミノフェン ジフェンヒドラミン	650-1000mg 50-100mg	経口	内服	ボラツスマブドチン投与30分前		○										
3		生理食塩液	100mL	メイン	点滴静注	30分		○	○									
4	○	ボラツスマブドチン 注射用水 生理食塩液	1.8mg/kg 20mL（溶解用） 100mL	メイン	点滴静注	初回90分 2回目以降30分可		○										
5		生理食塩液	50mL	メイン	点滴静注	No.4と同じ速度	1 ↓ 6 サイクル目	○							7 ↓ 8 サイクル目			
6		グラニセトロン 生理食塩液	3mg 100mL	メイン	点滴静注	30分		○										
7	○	ドキシソルピシン 生理食塩液	50mg/m ² 100mL	メイン	点滴静注	全開		○										
8	○	シクロホスファミド 生理食塩液	750mg/m ² 250mL	メイン	点滴静注	30分		○										
9		イブプロフェン d-クロルフェニラミン	200mg 2mg	経口	内服	リツキシマブ投与30分前			○							○		
10		ヒドロコルチゾン 生理食塩液	100mg 100mL	メイン	点滴静注	30分										○		
11	○	リツキシマブ 生理食塩液	375mg/m ² 500mL	メイン	点滴静注	※1			○							○		
12		生理食塩液	50mL	メイン	点滴静注	全開		○	○							○		

備考 《1-6サイクル目》 day2以降で、ペグフィルグラスチム3.6mg皮下注 併用を検討

※1：初回30分は50mg/mLで開始。有害事象に注意し、その後30分毎に50mg/hrずつ上げて、最大400mg/hrまでUP可。
2回目以降、初回の副作用が軽微だった場合、100mg/hrから開始可で、その後30分毎に100mg/hrずつ上げて最大400mg/hrまでUP可。